

令和6(2024)年度 認知症施策評価のためのアンケート調査の結果概要について

1 目的

神奈川県における認知症施策の効果および進捗状況を把握するため、認知症の人と家族、支援者、県民を対象とした本調査を実施した。

※ 令和6年1月施行の「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」を踏まえ、質問項目修正

2 調査の種類及び回収数

調査の種類	回収数
認知症の方の暮らしアンケート調査（本人用）	58 件
認知症の方の暮らしアンケート調査（家族や介護者用）	133 件
神奈川県認知症施策評価アンケート調査（一般の方、支援者等用）	814 件
合計	1,005 件

3 実施期間

令和6(2024)年9月2日から令和6年(2024)12月27日まで

4 回答方法

電子メール、ファクシミリ、e-kanagawa（神奈川県電子申請システム）等

5 周知先

- ・ ウェブサイト（県高齢福祉課ホームページ、介護情報サービスかながわ等）
- ・ 団体への周知（認知症施策推進協議会の委員及び所属団体等、市町村、保健福祉事務所等）

6 主な結果

認知症の方の暮らしアンケート（本人用、家族や介護者用）		
設 問	周りのすべての人が、認知症を正しく理解している	とてもそう思う、少しそう思うと回答した割合 本人 約 38.5% 家族等 約 37.9%
	自分の思いが尊重されていると思う	とてもそう思う、少しそう思うと回答した割合 本人 約 64.3% 家族等 約 57.3%
神奈川県認知症施策評価アンケート調査（一般の方、支援者等用）		
設 問	あなたは認知症について正しく理解していると思いますか	とてもそう思う、少しそう思うと回答した割合 約 78.9%
	地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されるなど、これまでの生活が維持できていると思いますか	とてもそう思う、少しそう思うと回答した割合 約 44.5%
	認知症施策を進めるうえで、今後充実して欲しいことは何ですか	・ 身近な地域で認知症の正しい知識を学ぶ講座の開催 ・ 認知症を理解してくれる人を増やす ・ 受診できる医療機関の機能強化 など